

講義の目的と
アドバイス

今期からRC（鉄筋コンクリート構造）を担当します。構造力学との関連で理解できるよう努めてください。建築物に多用される材料は鋼、コンクリート、木材、石材である。このうち鋼とコンクリートを組み合わせて部材を構成する補強鉄筋コンクリート構造の基本的力学的性状を理解し、基本的な梁材および柱材設計法ができるようになる。このために、曲げ抵抗機構、せん断抵抗機構を理解し抵抗機構に対応した配筋が必要であることを理解する。また許容応力度設計法と終局設計法の違いを理解する。単筋梁、せん断補強が理解できればこの講義でのRC構造の80%を理解してといえるでしょう。RC構造において何がエッセンスか探し出してください。鉄骨構造では座屈現象が主要な破壊現象の1つですが、RC構造で主要な破壊現象は？その対策は？などに着目して学習するといいいでしょう

回数	月・日	講義内容
1	10月10日	講義目的、位置づけ、スケジュール、地震被害例、
2	10月17日	第1章鉄筋コンクリート概論
3	10月24日	第2章コンクリートと鉄筋の性質
4	10月31日	第3章鉄筋コンクリート梁の曲げ設計
5	11月7日	演習
6	11月14日	第4章鉄筋コンクリート柱の曲げ設計
7	11月21日	演習
8	11月28日	第5章鉄筋コンクリート部材のせん断挙動とせん断補強
9	12月5日	演習
10	12月12日	第6章耐震壁
11	12月19日	演習
12	1月9日	第7章スラブ・階段・基礎
	1月16日	休講
13	1月23日	第8章付着・定着と配筋詳細

テキスト森北出版：谷川他、鉄筋コンクリート構造 理論と設計 第2

講義の進め方：テキストに沿って進め、必要の応じて資料を配付する。
成績判定に関するウエイト、出席：レポート・演習：試験＝1：3：6